



コレクション特別公開

変化朝顔

江戸ロココの華

午前中が見ごろです

江戸時代、まるで朝顔とは思えない不思議な形の花を咲かせて自慢し合うことが、町人たちの間でひそかな流行となっていました。変化朝顔と呼ばれるこれらの品種は時代とともに絶滅寸前になりましたが、幸い復活を遂げつつあります。江戸の数寄者の美意識を垣間見ることのできる変化朝顔コレクションから、見ごろをむかえたおよそ六十鉢を日替わりで展示します。花火にも似た刹那の美をお楽しみいただけるのは、毎日お昼前までです。ぜひこの機会にご来園下さい。

2012年 8.25(土)~9.9(日)

国立科学博物館筑波実験植物園

[開園時間] 9時~16時30分(入園は30分前まで。8/31までは17時まで開園) ※月曜休園
[入園料] 一般 300円 団体(20名様以上) 200円 高校生以下・65歳以上 無料
[ホームページ] <http://www.tbg.kahaku.go.jp/event/2012/08asa/>
[会場] 国立科学博物館 筑波実験植物園(茨城県つくば市天久保4-1-1)
[お問合せ] TEL:029-851-5159 FAX:029-853-8998
[主催] 国立科学博物館 筑波実験植物園

[アクセス]

〈お車〉常磐自動車道桜土浦ICから北(筑波山方面)へ約8km 無料駐車場120台
〈電車・バス〉つくばエクスプレス「つくば駅」より関東鉄道バス テクノパーク大穂行き「筑波実験植物園前」下車徒歩2分または筑波大学循環(左回り)「天久保二丁目」下車徒歩8分

